

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町 市塙147

TEL 0285-68-4380

URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと

検索

ブログはこちら



7月の催しもの

●しょうちゃん遊びま専科

「ブンブンうなり板をつくろう」

日時：7月14日（日）14：00～15：00

場所：2階 企画研修室

内容：ぐるぐる回すと不思議な音がする「うなり板」を作ります。

対象：小学生以下（定員15名※要申込）

申込：図書館カウンターまたはお電話にて承ります。
※低学年以下は保護者同伴でご参加ください。



●夏休み習字の宿題お助け隊

日時：7月26日（金）9：30～11：00

場所：2階 企画研修室

内容：「こぼとの会」ボランティアさんが、夏休みの習字の宿題を頑張るお子さんを見守ってくれます。

対象：町内の小学3年生～6年生（定員12名※要申込）

申込：図書館カウンターまたはお電話で承ります。

※習字道具は各自でご用意ください。
図書館からの貸し出しはありません。



●ダンボの会のおはなし会

日時：7月28日（日）10：30～（50分程度）

場所：市貝図書館1階 おはなしコーナー

内容：絵本の読み聞かせ・手遊び・パネルシアター・折り紙遊びなどで楽しみましょう。

ご家族の方も一緒にお楽しみください。

お問い合わせ 市貝町立図書館 ☎68-4380

●第36回企画展

「スーパースター・ビートルズ」

期間：7月20日（土）～9月1日（日）

場所：歴史民俗資料館 展示スペース

内容：夏休みの人気者カブトムシを中心とした昆虫について学びます。

お問い合わせ 中央公民館 ☎68-0020



ツイッターでも
情報配信中！



市貝町立図書館『いっとくん』

@ittokun_ichikai



7月・8月は図書館の開館時間が
9：00～19：00に変更になります。

涼しい図書館で、朝から本を読んだり、勉強したりできます。

また、夏季（10月上旬まで）は、キャップ付きの飲み物（ペットボトルや水筒など）に限り、2階学習コーナーデスク・閲覧スペースでご利用が可能です。

熱中症に注意して、適度に水分補給をしながら快適にご利用ください。



夏休みいっとくん缶バッチプレゼント

期間：7月19日（金）～7月21日（日）

図書館の本・CD・DVDを借りた方に、

いっとくんオリジナル缶バッチをプレゼントします。

なくなり次第終了ですので、ご希望の方はぜひお早めにご来館ください。

※3種類からお選びください。



図書館カレンダー

■ 休館日

7月 開館時間 9：00～19：00						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※月末資料整理日

8月 開館時間 9：00～19：00						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

花火大会
15：00閉館

夏休み課題図書について

みなさんに公平に読んでいただくため、7/9（火）～9/1（日）の期間、貸出ルールを変更いたします。

- ◆下野新聞小学生読書感想文コンクール
栃木県夏休みすいせん図書
- ◆青少年読書感想文全国コンクール課題図書

- ★貸出冊数・予約は1カード1冊です。
- ★貸出期間・予約取り置きは1週間です。
- ★貸出の延長はできません。
(期間前に借りた本でも期間中の延長はできません)

特集コーナーが新しくなりました

～いくつかご紹介します～



メインコーナーのテーマ
夏のおと



1階 カウンター前
異国への旅！

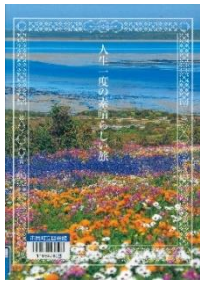


1階 企画コーナー
このミステリーがすごい



などなど…

～コーナーの中から スタッフのおすすめ本～



『人生一度の素晴らしい旅』
(パイインターナショナル)

まるで気分は世界旅行！
一度は行ってみたい絶景や
その時期にしか見られない祭
などフルカラーで楽しむこと
ができます。この本を見て遠
い異国に想いを馳せてみるの
もアリです。『異国への
旅！』コーナーには他にも異
国への旅の切符に最適な本が
たくさんありますのでぜひ手
に取ってみて下さいね！



『怪物の木こり』

倉井 眉介//著 (宝島社)

人を殺す事に何のためらいもない主人公
サイパス弁護士と怪物のマスクを被っ
た男。斧で頭蓋骨を割る、猟奇殺人事件
や記憶の中にある集団誘拐事件。スピー
ド感のある場面展開で引き込まれていく、
追うもの追われるもの、殺人者対怪物、
しかしその真実とは？読みだしたら一気
に読める一冊です。タイトルほどドロド
ロ感はなくスリリングなミステリー小説
です。他にも「このミス」歴代受賞作と
ミステリ小説を集めたコーナーをもうけ
ました。

第17回
「このミステリーがすごい」
大賞受賞作

しようちゃんのひとりごと



60歳前後と言うのは厄介な年齢だとつくづく思う。高齢者と呼ばれるのはまだ早いと思うし、若者でも中年でもない。熟年という言葉も好きではないのであまり使いたくない。電車やバスに乗って座席を譲られてもまだそんな年齢でもないし、だからといって譲るのも難しい。車の運転も上手とは言えないが、自転車に乗るのももどかしい。ましてや歩いて買い物では、重い荷物が持てない。私の少し後輩が、小さな子に「おじいちゃん」と言われると少し腹立だしいような気もすると言っていたが、私はすでに大きな孫がいるので別に構わない。反対に私だって「そこのお兄さん」と言われれば少しこそばゆい気になってしまう。昔ならとうに「高齢者」の仲間入りの年齢だが、いまの「高齢者」は自分たちより元気だったりする。来春、70歳になるが年齢には勝てないし、また、隠しようもない。実に中途半端な年齢だが、自分らしい最後の60代を精いっぱい生きようと思う。「おじいちゃん」ではなく「おじちゃん」でいいかなと友人にも言おうと思う。